

公益財団法人いわき市国際交流協会
平成30年度 事業計画

基本方針

I 多文化共生社会の推進

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、多様な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きていくという「多文化共生」に対する市民意識の向上を図る。

II 市内居住外国人に対する生活支援

大規模災害のような緊急時にも地域市民が共助できる、外国人にとって暮らしやすい安心・安全な環境づくりの推進を図る。

III 多言語化の推進及び情報発信

本市の正確な情報を市内居住外国人や世界各国に発信するため、本市公式ホームページの多言語化等を実施する。

IV 関係機関等との連携・協力

関係機関等と連携・協力し、インバウンド及び市民主体の国際交流活動を推進する。

I 多文化共生社会の推進

6,402千円

【事業概要】

多文化共生意識の醸成を図り、多文化共生を行う地域の担い手を育成する事業。

1 国際理解教育推進事業

2,463千円

多文化共生社会の実現のため、市民の多文化共生意識の醸成を図り、多文化共生についての地域の担い手を育成するため、市内で各種講座等を開催。

(1) 異文化理解講座

市民が外国の文化や日本、いわきを相互に理解する講座等の開催。
(外国語講座、外国料理教室、外国文化・日本体験講座)

(2) ホームビジット(体験的滞在)やホームステイ

外国出身者が日本人家庭の生活文化を体験し、日本文化に理解を深めると同時に、日本人家庭は外国人、外国文化への理解を深める。

2 多文化共生相談事業

3,939千円

多文化共生相談員を設置し、多文化共生に関する相談窓口を設置して随時相談にあたるほか、外国人が生活していくうえで必要なテーマのセミナーを実施する。

また、外国人やその関係者どうしの語り合いの場の提供を行う。

(1) 多文化共生相談事業

多文化共生相談員を設置し、外国人と外国人の配偶者等を持つ日本人が抱える悩みの傾聴と相談専門機関等への橋渡しを行う。

○ 受付日時 8:30～17:15（平日）

II 市内居住外国人に対する生活支援

4,518千円

【事業概要】

大規模災害のような緊急時にも地域住民が共助できる、外国人にとって暮らしやすい安心・安全な環境づくりを行う事業。

1 コミュニケーション支援事業

3,785千円

(1) 日本語教室の実施

市内居住外国人への生活支援の一つとして、外国人が日本語及び日本語学習を通じて日本文化や習慣・きまり等を習得し、地域住民との円滑なコミュニケーションができるようにするための「日本語教室」を開催。

○ 場所: 生涯学習プラザ等

○ 内容: 前・後期 各4クラス(各クラス 10回)

Aクラス 生活に最低限必要な「話す」力を身につける。

Bクラス 生活に必要な「書く」力を身につける。

Cクラス 効果的なコミュニケーション能力を身につける。

Dクラス 正確な発音と談話の力を身につける。

(2) 日本語支援ボランティア養成講座等の開催

市内居住外国人への日本語を支援するため、ボランティア養成講座やボランティア同士のネットワークを作るボランティアミーティングを実施。

① 日本語支援ボランティア養成講座

○ 目的: 日本語支援ボランティアの養成とレベルアップ

○ 対象: 日本語支援に関心のある方

○ 内容: 日本語の教え方

- ② 日本語支援ボランティアミーティング
 - 目的: 日本語支援活動のレベルアップとネットワーク作り
 - 対象: 日本語支援ボランティア
 - 内容: 日本語支援ボランティアとして日本語支援活動をしている方々のネットワークを構築し、よりよい活動に向けた話し合いや教授法の検討等を行う。

2 市民活動支援事業

377千円

本協会が実施する事業などへの協力者としての「国際交流ボランティア」の募集・登録と、市民独自の国際交流の取り組みへの支援を行う事業。

- 国際交流ボランティアの募集と活用（通訳、ホームビジット等の受け入れ）
- 通訳ボランティア研修会の開催と通訳ボランティアミーティング
- オーダーメイドプラン（会報紙等への情報掲載と活動会場確保の支援）
- 国際理解講座への講師派遣

3 専門分野における外部講師活用事業

356千円

外国人が生活していくうえで必要となる専門的な知識を必要とする分野について講座等を実施する事業、また、外国にルーツを持つ方たちの精神的ケアを行うために精神科医の協力を得て実施する事業。

Ⅲ 多言語化の推進及び情報発信

6,201千円

【事業概要】

本協会といわき市とが発信する取り組みや考え方を広く周知し、市内居住外国人や世界中の方への情報発信等を行う事業。

1 多言語化事業

4,731千円

市公式ホームページの多言語化(翻訳)の監修と、外国人が生活していくうえで必要な行政情報などの翻訳を実施する事業。

2 情報発信事業

1,470千円

(1) 会報「ワールド・アイ」の発行

- 発行月: 毎月1回
- 仕様: A4版8～10頁、1,400部、ルビ付き、英語・中国語・韓国語訳
- 内容: 当協会の主催事業の案内と報告、多文化共生に係る情報
- 配布先: 賛助会員、役員、公共機関、小中学校、高等学校、私・市立幼稚園
保育所、保育園

(2) ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッター)や紙媒体による情報発信

【事業概要】

関係機関等との連携・協力により、多文化共生社会の意識向上と、その推進を図る事業。

1 関係機関との連携

1,075千円

いわき市及び福島県内の民間国際交流団体との連携。

一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー等の関係機関と連携してインバウンドの推進に取り組む。

2 国際協力活動への協力

25千円

身近にできる国際協力活動の推進を図るため、市民の協力を得て、古切手、使用済みプリペイドカード、書き損じのはがき等について寄付を受け、国際協力関係団体を通して国際協力活動の支援を行う。